

2012年3月期第1四半期 決算プレゼンテーション

平成23年8月11日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)

〒101-8629 東京都千代田区外神田3-12-8

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3815-6807

<http://www.taxan.co.jp>

2012年3月期 第1四半期 決算ハイライト

■ 2012年3月期 第1四半期 決算ハイライト

連結損益計算書の業績比較

(単位:百万円)

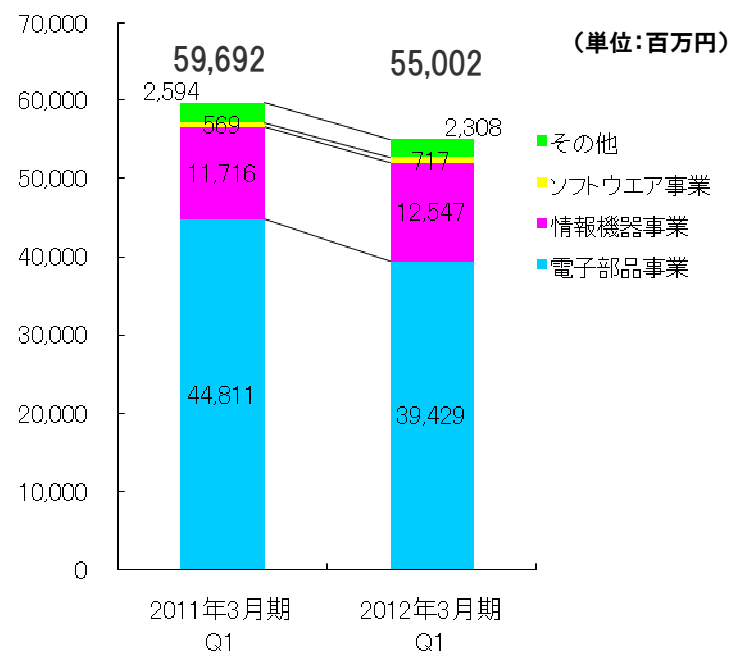
	2011年3月期Q1		2012年3月期Q1		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	59,692	100.0%	55,002	100.0%	-4,690	-7.9%
売上原価	51,900	86.9%	47,954	87.2%	-3,945	-7.6%
売上総利益	7,792	13.1%	7,047	12.8%	-745	-9.6%
販売費及び一般管理費	6,875	11.5%	6,799	12.4%	-76	-1.1%
営業利益	916	1.5%	247	0.4%	-669	-73.0%
営業外収益	196	0.3%	200	0.4%	4	2.0%
営業外費用	119	0.2%	75	0.1%	-44	-37.0%
経常利益	993	1.7%	373	0.7%	-620	-62.4%
特別損益	90	0.2%	-60	-0.1%	-150	-166.7%
税金等調整前当期純利益	1,083	1.8%	312	0.6%	-771	-71.2%
法人税及び住民税	386	0.6%	223	0.4%	-163	-42.2%
法人税等調整額	127	0.2%	-33	-0.1%	-161	-126.0%
少数株主利益	16	0.0%	6	0.0%	-10	-62.5%
当期純利益	552	0.9%	115	0.2%	-436	-79.2%

連結セグメント別「売上高」実績比較

(単位:百万円)

	2011年3月期 第一四半期		2012年3月期 第一四半期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
電子部品事業	44,811	75.1%	39,429	71.7%	-5,382	-12.0%
情報機器事業	11,716	19.6%	12,547	22.8%	830	7.1%
ソフトウェア事業	569	1.0%	717	1.3%	147	26.0%
その他	2,594	4.3%	2,308	4.2%	-286	-11.1%
計	59,692	100.0%	55,002	100.0%	-4,690	-7.9%

(注)前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため、「参考数値」となります。



主な増減のポイント

■「電子部品事業」売上高:前年同期比 -5,382百万円(12.0%減)

震災の影響による生産調整や消費減速などの影響により車載関連および民生機器向け半導体や遊技機器向けEMSビジネスなどの受注が減少いたしました。

■「情報機器事業」売上高:前年同期比 +830百万円(7.1%増)

震災により一部落込みが見られましたが、パーソナルコンピュータおよび周辺機器など既存商品の拡販や節電関連商品の需要増加および7月の地上アナログ放送終了にともなう地上デジタル放送チューナーの受注が増加いたしました。

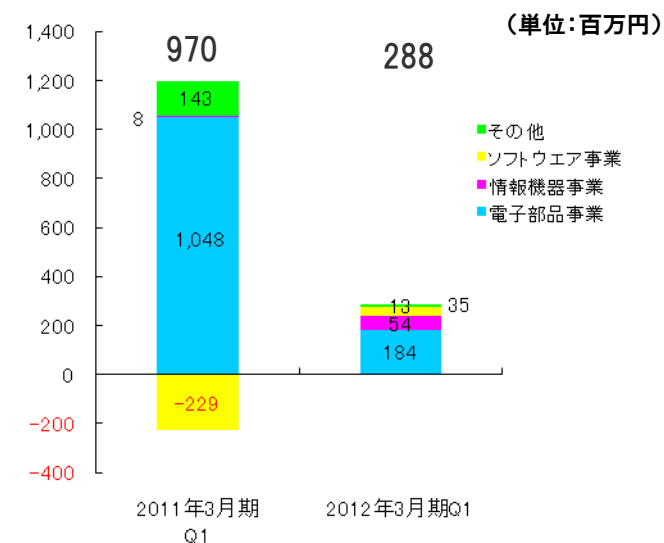
■「その他」売上高:前年同期比 -286百万円(11.1%減)

震災の影響によるゴルフ用品の販売不振やエレクトロニクス機器のリサイクル関連事業などの受注が減少いたしました。

連結セグメント別「営業利益」実績比較

(単位:百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期	増減
電子部品事業	1,048	184	-864
情報機器事業	8	54	46
ソフトウェア事業	-229	35	264
その他	143	13	-129
計	971	288	-682



(注)前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。

主な増減のポイント

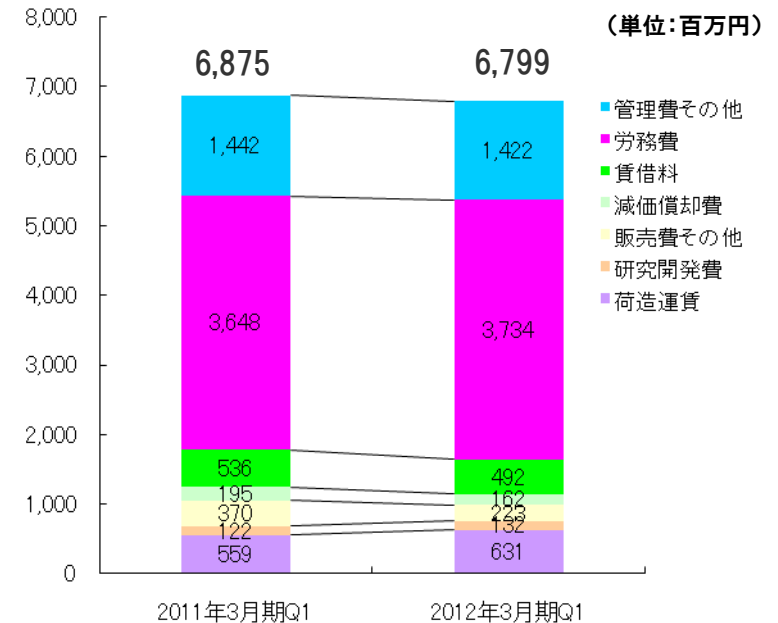
- 「電子部品事業」: 震災の影響による生産調整や消費減速などの影響により、国内EMSビジネスの売上高減少に伴い営業利益が減少し、前年同期比 864百万円減少。
- 「ソフトウェア事業」: コンピュータグラフィックスを活用した映像制作やゲームソフトなどの販売の増加により営業利益が増加し、前年同期比 264百万円増加。
- 「その他」: 震災の影響によるゴルフ用品の販売不振やエレクトロニクス機器のリサイクル関連事業などの売上高減少に伴い営業利益が減少し、前年同期比 129百万円減少。

販売管理費の状況（2011年3月期Q1及び2012年3月期Q1）

販売管理費増減比較表

（単位：百万円）

	2011年3月期Q1		2012年3月期Q1		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減比
荷造運賃	559	8.1%	631	9.3%	72	12.9%
研究開発費	122	1.8%	132	1.9%	10	8.2%
その他	370	5.4%	223	3.3%	-147	-39.7%
販売費計	1,051	15.3%	986	14.5%	-65	-6.2%
減価償却費	195	2.8%	162	2.4%	-33	-16.9%
賃借料	536	7.8%	492	7.2%	-44	-8.2%
労務費	3,648	53.1%	3,734	54.9%	86	2.4%
その他	1,442	21.0%	1,422	20.9%	-20	-1.4%
管理費計	5,822	84.7%	5,812	85.5%	-10	-0.2%
販管費合計	6,875	100.0%	6,799	100.0%	-76	-1.1%



主な増減のポイント

■販売費：貸倒引当金の減額(124百万円減少)などにより、前期比65百万円減少いたしました。

■管理費：賃借料・加賀スポーツ(株)の店舗賃料減額などにより前期比44百万円減少。

労務費・前期比86百万円増加。社員数：前期比408名増加(5,361名→5,769名)

※増加要因：海外EMS工場で462名増加。内、港加賀で170名増加、加賀沢山蘇州で345名増加。

2012年3月期 第1四半期 決算ハイライト

連結貸借対照表の業績比較

(単位:百万円)

	11年3月期 期末	12年3月期 Q1	増減
(資産の部)	114,686	111,352	-3,334
流動資産	92,876	90,126	-2,750
現金及び預金	11,926	10,944	-982
受取手形・売掛金	54,173	50,896	-3,277
商品及び製品	15,775	17,809	2,034
仕掛品	555	674	119
原材料及び貯蔵品	3,189	3,301	112
その他	7,256	6,499	-757
固定資産	21,810	21,225	-585
有形固定資産	9,724	9,595	-129
無形固定資産	2,599	2,433	-166
投資等	9,485	9,196	-289
資産合計	114,686	111,352	-3,334

	11年3月期 期末	12年3月期 Q1	増減
(負債の部)	66,087	63,694	-2,393
流動負債	56,987	55,065	-1,922
支払手形・買掛金	40,790	39,333	-1,457
短期借入金	8,505	9,759	1,254
その他	7,692	5,973	-1,719
固定負債	9,099	8,628	-471
長期借入金	4,636	4,182	-454
その他	4,463	4,446	-17
(純資産の部)	48,598	47,657	-941
株主資本	49,752	49,453	-299
資本金	12,133	12,133	0
資本剰余金	13,912	13,912	0
利益剰余金	25,038	24,740	-298
自己株式	-1,332	-1,332	0
評価・換算差額	-2,817	-3,346	-529
少数株主持分	1,664	1,550	-114
負債・純資産合計	114,686	111,352	-3,334

■ 2012年3月期 決算予想

連結損益計算書の計画比較 (2011年3月期及び2012年3月期計画)

(単位:百万円)

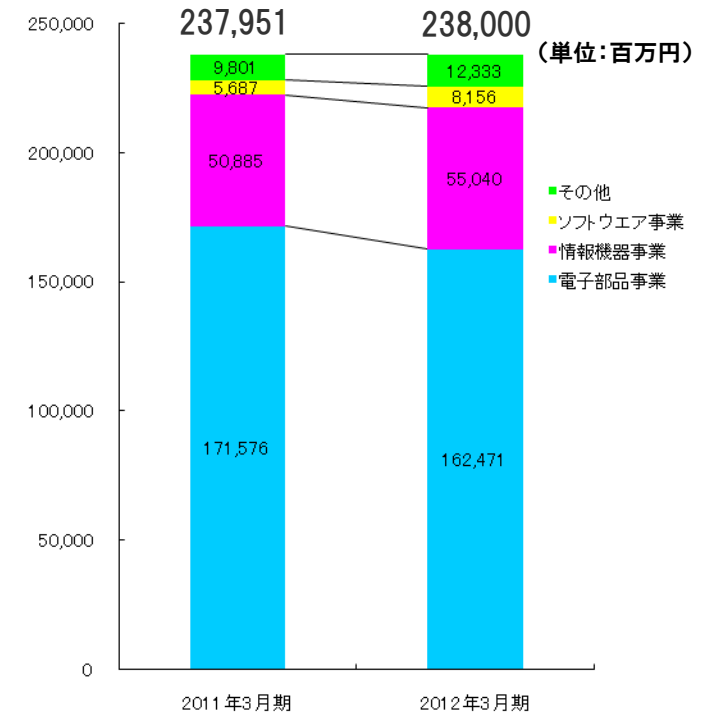
	2011年3月期 (実績)		2012年3月期 (計画)		増減	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
売上高	237,951	100.0%	238,000	100.0%	49	0.0%
売上原価	207,298	87.1%	209,000	87.8%	1,702	0.8%
売上総利益	30,653	12.9%	29,000	12.2%	-1,653	-5.4%
販売費及び一般管理費	27,089	11.4%	26,900	11.3%	-189	-0.7%
営業利益	3,563	1.5%	2,100	0.9%	-1,463	-41.1%
営業外損益	175	0.1%	500	0.2%	325	185.7%
経常利益	3,738	1.6%	2,600	1.1%	-1,138	-30.4%
特別損益	-376	-0.2%	-100	0.0%	276	-73.4%
法人税等	1,516	4.9%	1,200	4.1%	-316	-20.8%
当期純利益	1,854	0.9%	1,300	0.5%	-554	-29.9%

セグメント別「売上高」計画（2011年3月期及び2012年3月期計画）

（単位：百万円）

	2011年3月期		2012年3月期(予)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減比
電子部品事業	171,576	72.1%	162,471	68.3%	-9,105	-5.3%
情報機器事業	50,885	21.4%	55,040	23.1%	4,155	8.2%
ソフトウェア事業	5,687	2.4%	8,156	3.4%	2,469	43.4%
その他	9,801	4.1%	12,333	5.2%	2,532	25.8%
計	237,951	100.0%	238,000	100.0%	49	0.0%

（注）前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。



主な増減のポイント

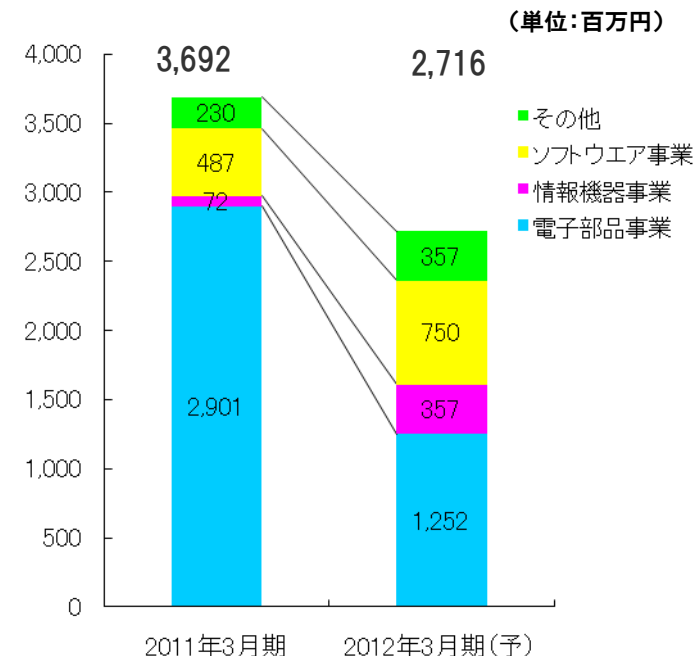
- 「電子部品事業」：震災からの復旧による電子部品、半導体等の供給の回復や海外におけるEMSビジネスの取扱高の伸長が見込まれるものの、震災の影響による生産調整および消費減速を受けた国内EMSビジネスの減少により、前年同期比9,105百万円減少(-5.3%)。
- 「情報機器事業」：パソコンおよび周辺機器など既存商品の拡販や新商品の開拓など取扱高の増加により、前年同期比4,155百万円増加(+8.2%)。
- 「ソフトウェア事業」：映像の制作やゲームソフトの販売の増加により、前年同期比2,469百万円増加(+43.4%)。
- 「その他」：震災からの復旧によるアミューズメント関連機器およびエレクトロニクス機器のリサイクル関連事業の取扱高の増加により、前年同期比2,532百万円増加(+25.8%)。

セグメント別「営業利益」計画（2011年3月期及び2012年3月期計画）

（単位：百万円）

	2011年3月期	2012年3月期(予)	増減
電子部品事業	2,901	1,252	-1,649
情報機器事業	72	357	285
ソフトウェア事業	487	750	263
その他	230	357	127
計	3,692	2,716	-976

（注）前期実績は、今年度より新設されたセグメントのため「参考数値」となります。



主な増減のポイント

- 「電子部品事業」：生産調整および消費減速による国内EMSビジネスの減少および半導体など取扱商品の価格下落により前年同期比1,649百万円減少(-56.8%)。
- 「情報機器事業」：パソコンおよび周辺機器などの売上高の増加により、前年同期比:285百万円増加(+395.8%)。
- 「ソフトウェア事業」：映像の制作やゲームソフトの制作、販売が増加したことなどにより、前年同期比:263百万円増加(+54%)。
- 「その他」：アミューズメント関連機器およびエレクトロニクス機器のリサイクル関連事業の販売増加などにより、前年同期比:127百万円増加(+55.2%)。

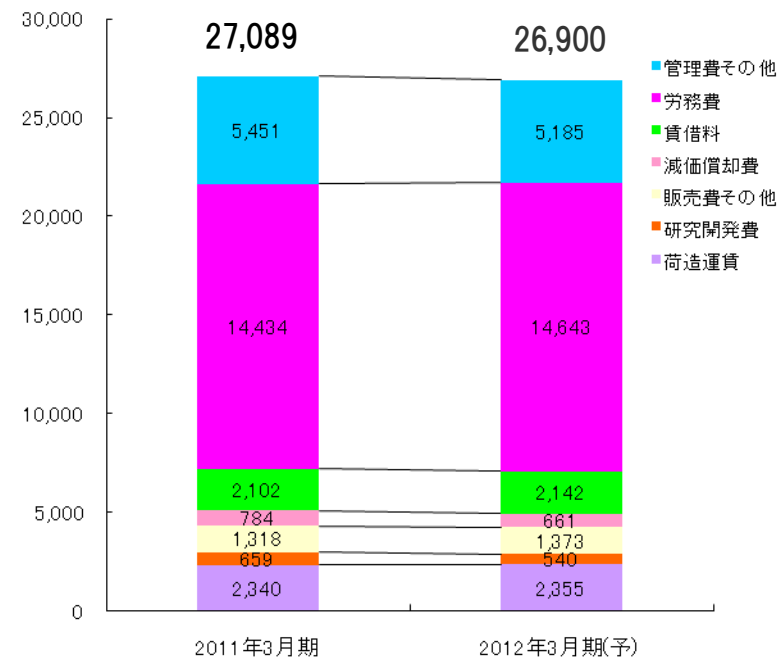
・ 販売管理費の状況（2011年3月期及び2012年3月期計画）

販売管理費増減比較表

（単位：百万円）

	2011年3月期		2012年3月期(予)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	2,340	8.6%	2,355	8.8%	15
研究開発費	659	2.4%	540	2.0%	-119
その他	1,318	4.9%	1,373	5.1%	55
販売費計	4,317	15.9%	4,268	15.9%	-49
減価償却費	784	2.9%	661	2.5%	-123
賃借料	2,102	7.8%	2,142	8.0%	40
労務費	14,434	53.3%	14,643	54.4%	209
その他	5,451	20.1%	5,185	19.3%	-266
管理費計	22,771	84.1%	22,631	84.1%	-140
販管費合計	27,089	100.0%	26,900	100.0%	-189

（単位：百万円）



主な増減のポイント

■ **販売費**: 研究開発費・・・エスアイエレクトロニクス製品の開発が完了したことなどにより、前期比119百万円減少

■ **管理費**: 労務費・・・前期比209百万円増加。

※増加要因: 海外EMS工場の人員増加など

当期の取り組みについて

～ビジネスユニット紹介～

■当期の取り組み ～ビジネスユニットの展開～ NO.1

コンポーネントビジネスユニット

当社グループの事業のベースとなる電子部品/半導体/モジュールビジネス

加賀電子、加賀テック、加賀デバイス、エーディーデバイス、エー・ディ・エム、ワークビット、
KAGA(USA)、KAGA DEVICES(H.K.)、加賀電子(大連)、KAGA(KOREA)、KAGA(SINGAPORE)、KAGA(TAIWAN)

■事業への取り組み

①大手顧客向け新規商材と仕入れ先の拡大。

顧客ニーズの多様化、同業との競争激化に対応するため、海外より商材を調達し、日本国内での販売網を構築。独立系の強みを活かしたグローバルな活動を展開。

半導体(マイコン)の開発など付加価値の創造によりビジネスを獲得。

②海外での現地企業との取引拡大。

前期より、中国ローカル企業への取引拡大のため体制を強化。更なる拡充を目指す。

③大手顧客との連携により、新興国への進出を推進

2011年8月にKAGA DEVICES INDIA PVT LTD.を設立、インドにおけるビジネスをスタート。

また、ブラジルへの進出など他の新興国への進出も計画中。

④グローバル化へのグループ会社間の更なる連携強化。

同じ業態のグループがユニットに集約されたことにより、更なるシナジー効果を発揮。

伸びる市場への高付加価値ビジネスを展開

マニュファクチャリングビジネスユニット

メーカー機能とEMSによる半完成品から完成品までの開発設計や生産まで対応した製造事業

加賀電子、加賀コンポーネント、KAGA(H.K.)、加賀電子(上海)、KAGA(THAILAND)、KAGA(EUROPE)、
東莞勁捷電子、KAGA COMPONENTS(MALAYSIA)、KD TEC S.R.O、加賀沢山電子(蘇州)

■事業への取り組み

①購買力強化→集中購買戦略の実施／移管ビジネス→グループ内の連携強化

従来のEMSビジネスと電源ビジネス(加賀コンポーネント株)が同ユニットになることにより、部材の調達の一体化によるコスト減、生産拠点の有効活用など相乗効果を発揮。

②ビジネスチャンスがあれば地域に捉われずに展開／顧客ニーズの進む多様化にも即応可能な生産体制

中国、タイなどで日系企業からのEMSビジネスの受注が増加。生産を拡充。



製造事業の集約により、高性能・高品質の物づくり



加賀電子株式会社

〒101-8629

東京都千代田区外神田3-12-8

住友不動産秋葉原ビル

問合せ先: 広報室

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3815-6807

E-mail: webmaster@taxan.co.jp

<http://www.taxan.co.jp>